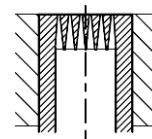


なぜ、ガストースはメンテナンスが必要なのか？

ガストースは、エジェクタピンの先端にスリット(ベント)を用いたガス抜きピンです。ガストース先端部のスリットは、ガスの排出やガスヤニの付着しにくいテーパ構造です。



ガストース先端部



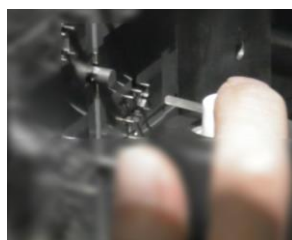
ガストースのベント

しかし、ガスヤニの付着しにくい構造ですが、一般的なベントと同様に掃除をしないと徐々にガスヤニが付着し詰まってしまうと、ガス抜き効果はなくなります。ガスヤニの付着を防ぐために下記の洗浄方法をお勧めします。

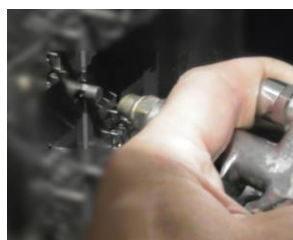
ガストースには2通りの洗浄方法があります。

1. 生産中に行う方法

PL面清掃、グリスアップ等で金型が開いている時に、洗浄スプレー等をガストースの先端部分に吹き付けます。次に、ガストースの先端部分にエアブローを行い、ガスやガスヤニを排出させます。



1. 洗浄スプレーをガストースの先端部分に吹き付ける。



2. 次にエアを吹き付ける。



ガストース先端部

※スプレーならびにエアを吹き付けの際は、なるべくガストースの先端部に近い位置から吹き付けていただきますようお願いいたします。

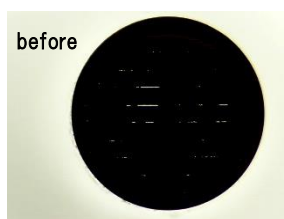
生産終了後は、温調を外す前に、上記と同様に洗浄スプレー等でガストースを洗浄し、しっかりエアブローでヤニ・洗浄液を飛ばしてから、温調を取り外し、金型を下ろします。

2. 金型を下した際に行う方法

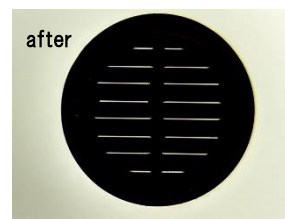
ガストースを超音波洗浄機で洗浄をします。



超音波洗浄(イメージ)



before



after

ガストースは、しっかりと超音波洗浄の清掃を行うことでスリット部が回復します。定期的な洗浄を行わないとスリット部に付着したヤニが取れにくくなってしまいます。

注意点

- ◆ ガスヤニは金型が冷えると固まりますので、成形機から金型を下した時に(完全に冷えきる前)メンテナンスし、洗浄をします。
- ◆ ガストースの洗浄の際は、『スリットの入っている面』から洗浄スプレーやエアブローを吹きつけて下さい。ガストースは先端部がテーパ構造になっているため、ツバ側からの洗浄スプレー・エアブローの吹きつけはご遠慮下さい。スリット部に入り込んでしまい、取れにくくなってしまいます。
- ◆ 洗浄後の確認方法は、ツバ側よりガストースを覗き、スリット部の光が透過していることを確認し、光が少ない時は、もう一度、超音波洗浄を実施して下さい。

光

